

理念・目標／アドミッション・ポリシー admissions policy

■医学院の理念

世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献します。

■医学院の教育、研究目標

本医学院は、医学・生命科学に関する高度な知識と研究能力を備え、社会の要請に応える高い見識を備えた人材を育成します。また、基幹総合大学として国際レベルの研究を推進し、知のフロンティアを切り拓き人類の福祉に貢献します。

■アドミッション・ポリシー（求める学生像）

医学院では次のような学生を求めています

- ・生命現象の解明、疾病の克服、人類の健康の増進に向けて真摯に研究に取り組むことのできる人
- ・知的好奇心に富み、論理的な分析力、粘り強い行動力や協調性を有し、医学領域各分野において国際的なリーダーとして活躍できる人

挨拶



北海道大学大学院医学院長

吉岡 充弘

修士課程は医学以外の学問体系を学んできた方々に最新の医科学や社会医学を教授することにより、異分野の知の融合を促進し、独創性と複合的な視点を兼ね備えた研究者や高度専門職業人を養成することを目的としています。平成29年度から、新たに「公衆衛生学コース」を設置し、公衆衛生修士号を取得できる教育システムを導入しました。さらに、高齢化・過疎化など北海道独自の地域の諸課題に対応できる人材を迅速に社会へ送り出すため、医師、歯科医師、薬剤師などの医療職に従事し、実務経験を有した方々に対して1年で修了できる1年コースも設定いたしました。

医学院は多くの優れた研究者を擁しており、医学のさまざまな領域において国際水準の研究を行っています。基礎医学の領域では、脳やがん、免疫に関する先端的研究をはじめとして、生体の構造、生理、病理に関する多くの優れた研究が展開されています。社会医学の領域では、現代社会が直面する諸問題に医学的見地からアプローチするユニークな研究が行われています。臨床医学の領域では、病因の解明、物理・工学を応用した最先端診断・治療機器の開発、ヒトモデルや高機能新素材を用いた新しい治療法の開発など、難治性疾患の克服を目指す研究が展開されています。これらの研究は、国内外で高く評価され、さまざまな国家的大型研究プロジェクトが医学研究院を中心に展開されています。

最先端の医学研究を学ぶ皆さんには、優れた科学者のひとりとして、崇高な倫理観のもとに新たな知の創造や社会の諸課題に主体的に取り組み、社会の期待に応えていくことが求められています。北海道大学大学院医学院は皆さんの期待に充分応える能力をもっています。皆さんが有意義な学生生活を過ごされることを祈念しております。

平成29年4月

医学院で学生の受け入れが可能な教室を紹介します。

(平成29年5月1日現在)

	講 座	教 室		
【医科学専攻】				
生理系	生化学	●分子生物学	●医化学	
	解剖学	●解剖発生学	●組織細胞学	
	生理学	●細胞生理学	●神経生理学	
	薬理学	●神経薬理学	●細胞薬理学	
病理系	病理学	●分子病理学	●腫瘍病理学	●分子診断病理学
	微生物学免疫学	●免疫学	●病原微生物学	
社会医学系	社会医学	●衛生学 ●医療政策評価学** ●レギュラトリーサイエンス	●公衆衛生学 ●医学統計学 ●先進医療マネジメント学	●法医学 ●医学教育・総合診療医学 ●医薬品医療機器評価学*
内科系	内科学	●呼吸器内科学 ●循環病態内科学 ●健康管理医学	●免疫・代謝内科学 ●腫瘍内科学	●消化器内科学 ●血液内科学
	放射線科学	●放射線医学	●核医学	●放射線医学総合研究*
外科系	外科学	●消化器外科学 I ●循環器・呼吸器外科学	●消化器外科学 II ●乳腺外科学	●腎泌尿器外科学
	侵襲制御医学	●麻酔・周術期医学	●救急医学	
専門医学系	機能再生医学	●整形外科学 ●リハビリテーション医学	●再生医療**	●形成外科学
	生殖・発達医学	●小児科学	●産婦人科学	
	感覚器病学	●皮膚科学	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	●眼科学
	神経病態学	●精神医学	●脳神経外科学	●神経内科学
連携医学系	医生物学	●神経生物学	●人類進化学**	
	免疫科学	●感染病態学** ●分子神経免疫学	●免疫生物学	●免疫機能学
	癌病態学	●癌生物学**	●RNA生体機能学	●幹細胞生物学

※大学院医学院では、平成29年4月の大学院医学研究科の改組に伴う組織区分名称の見直しにより、これまでの「分野」を「教室」に変更しました

* 連携分野
** 平成30年度の学生募集は予定していません